

子宮頸がん予防ワクチンをご存知ですか？

～ワクチンと検診で、子宮頸がん予防を～

1. 子宮頸がん予防ワクチンとは？

子宮頸がんになるひとつの原因として、発がん性ヒトパピローマウイルス (HPV) に感染することが挙げられます。このウイルスは誰でも感染するありふれたウイルスです。ただし感染したからといって必ずがんになるわけではなく、感染した人のうち約1%未満ががんになると言われています。

そのウイルスの感染を予防するのが、子宮頸がん予防ワクチンです。このワクチンの接種により、現在子宮頸がんにかかっている日本人から見つかっている HPV のうち、約7割を予防することができます。

2. 子宮頸がん予防ワクチンの接種について

8月から市内委託医療機関において予防接種が開始されます。対象者で「希望調査書」により接種希望した人は、予防接種料金が無料となります。「希望調査書」を提出した人には、順次案内を送付します。希望した人で8月を過ぎても通知が届かない場合は、ご連絡ください。

① 接種料金助成対象者

中学1年生 (13歳相当) から高校1年生 (16歳相当) までの女子で希望する人

② 接種回数…3回 (8月、9月、平成24年2月)

十分な予防効果を得るためには3回の接種が必要です。通知内容を確認し、接種するようお願いします。

3. 予防接種と併せて子宮頸がん検診も受けましょう

子宮頸がん予防ワクチンの接種と検診を併せて受けると、より効果的子宫頸がんを予防することができます。市は20歳以上を対象に子宮頸がん検診を実施しています。20歳になったら定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

麻しん風しん混合ワクチン (MR)、小児肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンなど各種予防接種も併行して実施しているので、接種間隔など不明な点はお問い合わせください。

<東日本大震災により二戸市に避難している

被災者の健康診査などについて>

被災者の健康管理のため、特定健康診査、各種がん検診、予防接種の実施の受け入れをしています。ご希望の際は、お問い合わせください。

問い合わせ先 健康推進課

予防接種…内線 245、各種検診…内線 251

こみゅにTeaたいむ

50杯目

まちづくり事業補助金の6団体が決定

市は7月16日、二戸地区合同庁舎で「地域づくりリーダー研修会」を開催し、町内会や常会の役員など約50人が市民協働によるまちづくりについて学びました。

はじめに、宮城大学事業構想学部の鈴木孝男助教が「みんなで届けよう地域の声！地域づくり計画の果たす役割」と題して基調講演し、地域コミュニティの役割は、地域課題を解決する活動に変化してきていることから、地域のニーズや特徴が一目でわかる「地域づくり計画」の策定が必要となることを説明しました。

第2部では、まちづくり事業補助金公開審査会を開催しました。市内の8つの町内会や常会が応募し、「地域づくり計画」に基づいて実施する事業について発表。宮城大学の鈴木孝男助教をはじめ4人の審査委員は、地域の魅力を高める事業であるかどうかなどについて

審査した結果、下記の表のとおり6団体の事業が決定となりました。

H23 まちづくり事業補助金交付決定団体

	実施団体	事業名	内容
1	枋ノ木6区町内会	枋ノ木祭り用物品整備	お祭り用備品購入
2	柿ノ木平常会	柿ノ木平阿弥陀堂周辺整備	公園整備
3	門崎常会	門崎のれん設置	のれん制作 21個
4	大清水常会	大清水地区「湧き水」周辺整備	広場、湧き水の整備
5	上米沢町内会	鹿踊り用衣装整備	鹿踊り用衣装購入 サイン計画策定調査費
6	上海上自治会	里山の灯り事業	イルミネーション設置

決定した6団体はのれん設置、公園整備、湧き水周辺整備、備品の購入などを行い、地域づくりへの取り組みをさらに推進していきます。



審査会の様子

事業の実施結果は来年3月に地域づくりの研修会の場で発表される予定です。

この欄の問い合わせは、市地域振興課 (内線 382) まで